

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公開番号】特開2010-116140(P2010-116140A)

【公開日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-205784(P2009-205784)

【国際特許分類】

B 6 4 C 29/00 (2006.01)

B 6 4 D 37/04 (2006.01)

【F I】

B 6 4 C 29/00 A

B 6 4 D 37/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月28日(2012.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ダクトファン航空機のための非袋状垂直燃料タンクであって、前記非袋状垂直燃料タンクは、

ポッドと、

前記ポッドに収容される垂直燃料タンクと、を有し、前記垂直燃料タンクは、ポッドの前方側壁と後方側壁との間で中心決めされ、前記垂直燃料タンクは、袋を囲まず、

前記燃料タンクは、垂直燃料タンクの床において出口を有し、前記出口は前記垂直燃料タンクの前方側の側壁に隣接して配置され、前記出口は引出しチューブに連結され、

前記垂直燃料タンクは、前記ポッドのダクトのハイライト部に位置する圧力解放穴を有し、前記圧力解放穴は、前記垂直燃料タンクに空気が入ることを可能とするように構成される、垂直燃料タンク。

【請求項2】

請求項1に記載のダクトファン航空機のための非袋状垂直燃料タンクであって、前記垂直燃料タンクの前方端部における前記床は、前記ポッドに対して短い距離の水平部であり、前記垂直燃料タンクの後方側の側壁まで延びる傾斜した床に遷移し、前記床は、水平部分を画定する水平部である、垂直燃料タンク。

【請求項3】

非袋状垂直燃料タンクを収容するポッドを用いるダクトファン航空機に燃料補給する方法であって、前記方法は、

消費した燃料ポッドをコア航空機上のコネクタから取り外すステップを有し、前記消費した燃料ポッドは、(a)前記ポッドの前方側壁と後方側壁との間で中心決めされる垂直燃料タンクを有し、前記垂直燃料タンクは、袋を囲まず、(b)前記消費した燃料ポッドは、垂直燃料タンクの床において出口を有し、前記出口は前記垂直燃料タンクの前方側の側壁に隣接して配置され、前記出口は前記コア航空機により収容される引出しチューブに連結され、(c)前記消費した燃料ポッドは、前記ポッドのダクトのハイライト部に位置する圧力解放穴を有し、前記圧力解放穴は、前記垂直燃料タンクのそれぞれに空気が入ることを可能とするように構成され、

前記方法は、予め燃料補給されたポッドを前記コア航空機へ取り付けるステップを有し、前記予め燃料補給されたポッドは、前記消費された燃料ポッドと同一の構成を備える、方法。